

てがたんレポート Vol.2 No.10 (2005年10月:通巻19号)

★観察コース:鳥博スタート→3.5.15号線沿い→水生植物園→遊歩道→釣り堀前の芝生広場(まとめ&解散)

★観察日時/天気:2005年10月8日(土)10:00~12:00/晴れ

★参加人数:8人

★観察案内&記録:

- ・ボランティア・スタッフ(敬称略・五十音順):岡廣志、小野寺喜四郎、木村稔、小泉伸夫、首藤美恵子、染谷迪夫、中西榮子、中野久夫
- ・鳥博職員:斉藤安行、村松和行

今回のテーマ
・ヒヨドリの渡り、
・秋の草花や木の葉
・成虫越冬するチョウ

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

★鳥類

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、キジ、オオバン、イソシギ、キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハンボツガラス、ハシブトガラス、(その他帰化鳥や家禽)コブハクチョウ

★両生類

ニホンアマガエル

★昆虫類

・蝶や蛾の仲間

モンキチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ウラギンシジミ、モンシロチョウ、イチモンジセセリ、セスジスズメ幼虫

・コオロギやバッタやキリギリスの仲間

エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、オカメコオロギ、カネタタキ、アオマツムシ、クサヒバリ、シバシズ、マダラスズ、タンボコオロギ(越冬幼虫も観察)、ウスイロササキリ

・カマキリ類

ハラビロカマキリ

・甲虫類

クロウリハムシ、ナナホシテントウ、ヒメカメノコテントウ

・カメムシの仲間

マルカメムシ

★クモ類

オニグモ(通常夜間活動するが秋になり昼間も活動)、クサグモの仲間、ジョロウグモ、ナガコガネグモ

★観察したおもな花

・花を観察した植物

ツユクサ、タネツケバナ、アメリカアゼナ、オニノゲシ、コセンダングサ、メシバ、オヒシバ、アキノエノコロ、シマスズメノヒエ、ザクロソウ、ミチヤナギ、ヤブガラシ、オニドコロ、セイタカアワダチソウ、キクイモ、アキノノゲシ、イヌビユ、コニシキソウ、エノキグサ、スベリヒユ、ヤブガラシ、シロノセンダングサ、タカサブロウ、アゼナ、カントウヨメナ、コヒルガオ、カタバミ、セイヨウタンポポ、ヨモギ、ヒガンバナ、ハキダメギク、トキンソウ、ザクロソウ、ホソアオゲイトウ、トキワハゼ、イボクサ、イヌタデ、ホトケノザ、タウコギ、ミゾソバ、ボントクタデ、ヌカキビ

・実を観察した植物

ハゼ(植栽)、ムク、カラスウリ、ハナミズキ(植栽)、コブシ(植栽)

* リストの生き物の名前は順不同です(おおむね観察順)

10月の観察アルバム



セミの卵を観察中

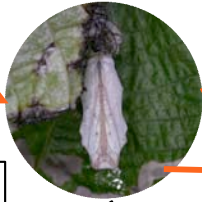


抜け殻

羽化後排出された赤い体液



羽化直後のアカタテハ



蛹になったアカタテハ



鳥博近所のカラムシの葉についたアカタテハの幼虫

山から降りてきたカケスが上空を通過しました(写真はイメージ)



樹上のアマガエル



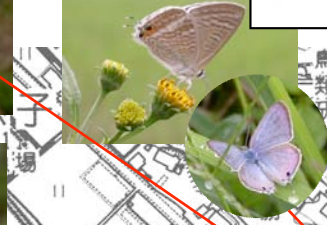
生け垣のイチイの実が熟していました



庭のコブシの実が、はじけていました。



ウラナミジミ 繁殖しながら北上し、分布拡大し北海道まで達するが、越冬できるのは、房総半島あたりまでとのこと。



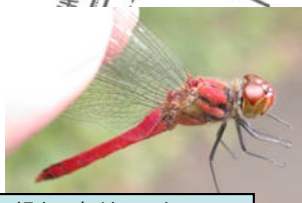
アメリカゼナ アゼナに似ているが、葉にきよ菌がある



ミチヤナギ 拡大してみると、意外にきれいな花をつける道端の雑草の一つ



葉が互生して出るオニドコロとその雄花



額まで赤くなった赤トンボ(ナツアカネ)



ハナミズキの実が赤く熟していました



ザクロソウ 道端の一年草



シロセンダングサ

コセンダングサ

ひつきむし! (くつつく種) 三種の花

タウコギ



子どもをかかえたアメリカザリガニ (秋に繁殖します)



てがたん9月号 "訂正+α"

カネタタキ ~~カネタタキ~~の♀ (鳴くのは♂)

こちらがカネタタキ♂

こちらがカネタタキ♀

